



総合目録データベースの ガイドライン作成に向けて

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課
図書館連携チーム（CAT/ILL担当）

内藤 裕美子

平成19年度NACSIS-CAT/ILLワークショップ



本日の内容

1. NACSYS-CAT/ILL業務分析表とは
2. NACSYS-CAT/ILL業務分析表の中身
3. 評価



業務分析表とは(1):作成経緯

- 平成16年度「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト」における活動として作成
 - 検討のための基礎資料
 - 平成15年度のデータを元に作成
 - 分析表をもとに，訪問調査も実施(15機関)



業務分析表とは(2): 目的

- 「図書館評価のための基礎的数値の開示」
 - 管理職が実態を把握できるように
 - 各機関における自己点検・自己評価のための数値として
- 「NIIアクションプラン」の1つとして, 平成17年度以降も毎年作成・送付
 - 「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト中間報告」(H17.4)
 - 「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト最終報告」(H17.10)



業務分析表とは(3): 構成

- NACSYS-CAT業務分析表
- NACSYS-ILL業務分析表(4種)
- NACSYS-CAT/ILLサービス品質グラフ(2or3種)
- 重複書誌統合処理リスト
- 雑誌継続所蔵・未更新リスト
 - 1年度分(4/1～3/31)のデータを元に集計
 - 機関(KID)単位で集計



業務分析表の中身(1): NACSYS-CAT業務分析表

- 1年間のCAT業務実績
 - 図書書誌
 - 新規作成数, 重複作成数, 重複率, etc
 - 図書所蔵
 - 所蔵数, 追加率, 更新率, etc
 - 雑誌所蔵
 - 所蔵数, 未更新件数, 未更新率, 等
- 全国, 機関種別, 規模別の平均値と比較
(ILLも同様)



業務分析表の中身(2): NACSYS-ILL業務分析表

- 1年間のILL業務実績
 - 複写・貸借業務
 - 依頼・受付数, 謝絶率, 所要日数 etc
 - GIF対応実績
 - 米国(OCLC), 韓国(KERIS)業務実績
 - ※ 平均値はGIF参加機関のみで集計
 - レコード別状態件数
 - 受付/依頼, 複写/貸借 状態別件数



業務分析表の中身(3): 機関別 NACSYS-CAT/ILLサービス品質グラフ

- 6項目について、平均からのばらつき度合いを表示(機関単位)
 - 「全国」「機関種別」「規模別」の3通り
 - 「規模別」は国公私大のみ
 - 1～5の5段階評価(平均は3)
 - 数値が大きいほど成績“良”



業務分析表の中身(4): 図書書誌レコード重複統合処理リスト

- 1年間にNIIで処理した図書書誌「重複書誌レコード」の全リスト
 - 参加組織 (FA) 単位で集計



業務分析表の中身(5): 継続所蔵・未更新所蔵リスト

- 雑誌所蔵レコードのうち，継続中の所蔵，及び仮登録所蔵の全リスト
 - 参加組織 (FA) 単位で集計
 - 未更新対象のレコードを表示
- 今後はこのリストで雑誌の更新を促す予定
 - 「雑誌所蔵更新への強制力」(NIIアクションプラン)への対応



評価

- 業務分析表を用いての評価は可能？
 - 数値の単純な比較では、評価は難しい？
 - ex. 新規書誌作成が多いほど、重複も多い傾向あり
 - ex. ILLの謝絶は受付館、依頼館どちらに責任が？
 - やはり聞き取り調査が必要か
- 業務分析表自体の評価
 - 他に必要な項目は？
 - 各数値の算出方法は問題ないか

皆様はどうお考えでしょうか・・・